

# 金融取引の効率化を支援するブロードリッジ

## グローバル市場で実証された高水準のテクノロジーサービスを提供



株式会社ブロードリッジ・ジャパン  
ヘッド・オブ・オペレーションズ ジェームス・マーズデン 氏  
Mr. James Marsden, Head of Operations

### MSOG

グローバルで活動する  
ブロードリッジ社について  
教えてください

**JM)** 弊社は、国際金融市場において、迅速で正確な証券取引処理を実現するソリューションと、発行体・投資家間コミュニケーション関連の最先端テクノロジーをグローバルで提供している企業です。1日4兆ドルを超える債券および株式等の金融取引を処理すると共に、株主と企業間のコミュニケーションを年に約10億通配信する強固なインフラストラクチャーを構築・維持しています。こうしたテクノロジーソリューションの活用によって、お客様は大きなコスト削減を実現しています。

### MSOG

日本で注力、  
展開しているサービスは？

**JM)** 大別すると、1) Glossシリーズを中核とした取引及び決済処理、これに付随する市場決済に関わるコネクティビティソリューション、金融商品取引法に基づく法定帳簿、当局・協会及び取引所などに対する定期報告、SWIFT関連サービス 2) リコンサイル、マッチング、手数料管理のソリューション 3) 東京証券取引所、日本証券業協会との合併企業であるICJを通じた上場企業向けの議決権電子行使プラットフォームの提供になります。

### MSOG

日本法人の活動について  
教えてください

**JM)** 日本支社では25人が働いています。その上、海外にも日本語が解る日本市場専任担当スタッフが14人います。定期的に来日し、ビジネス面の理解も深めさせています。日本支社のスタッフはソフトウェア開発、プロジェクトマネジメント、ビジネスアナリスト、プログラマー、プロダクションサポート、営業など様々な役割を担っています。また、“グローバルスマートチーム”という弊社のコンセプトの下、日本のスタッフも海外のプロジェクトを手伝い、海外のスタッフも日本のプロジェクトを適材適所で支援し、ベストなソリューションを提供できる体制を整えています。各国の取引所や業界団体とも緊密な関係を構築していますし、R&Dや買収あるいは提携を通じた卓越した製品への積極的な投資を行っています。

### MSOG

企業買収にも積極的ですね

**JM)** お客様のニーズに迅速に対応するために、「時間を買う」というコンセプトである買収は極めて有効だと考えています。弊社では、買収後、組織を速やかに一体化し、お互いの事業について理解を深め、コラボレーションに基づく価値創造を齎すと同時に、サイロ型のオペレーションにならないように注意を払っています。

### MSOG

日本の金融界にとって  
アウトソーシングの  
位置づけは

**JM)** グローバルレベルでの厳しい競争に晒されている国際金融業界は、コアビジネスの分野において競争力を高める必要があるため、テクノロジープラットフォームの運営の分野では、弊社のような専門性の高い技術を持つ会社に対してアウトソースするのが効率的だと思われます。ASPやサービスビューローといった形式のアウトソーシングは既に国際金融業界で実証済みですし、日本でも既に受け入れられているソリューションです。ビジネスプロセスアウトソーシング (BPO) は、世界の多くの金融市場で重要度を増していますが、日本でも同じ傾向が見られます。

#### MSOG

欧州の債務危機の影響は？

**JM)** 前回の金融危機では、危機後に国債や社債等の発行が増加したため、弊社の国際的証券決済ソリューションGlossを活用した債券取引処理を求める需要が増加しました。今回はソブリン債が問題となっていますが、これが引き金となり、債券取引処理オペレーションの効率性を向上させる需要が更に高まると見えています。

#### MSOG

成長するアジアにおける  
東京市場をどのように  
見えていますか

**JM)** 日本もかつてはニューヨーク、ロンドン、香港、シンガポールなどの国際金融市場と比較すると独自色がかなり強い印象がありましたが、ここ数年、開かれた市場として国際化が進んだことにより、金融ビジネスにおける国際標準の積極的な導入に取り組んでいると感じます。世界の主要資本市場の一つとして、まだまだ日本は有利な地位を占めているのは確かです。強い国内市場、地域市場を持ち、投資家は投資対象の多様化やクロスボーダー投資を通じてリターンを最大化しようとしているので、日本の投資家の日本円ベースから多通貨ベースの金融商品へのシフト、そして海外投資家による日本円ベースの金融商品への更なる投資と、国際的な取引が益々重要度を増しつつあります。こうした意味で、東証と大証の統合は、BCPの観点でも補完性が高い上、国際金融市場としての日本の魅力を高めることになるでしょう。日本は、高度なインフラを持ち、証券保管振替機構のISO20022、新日銀ネット、日本国債清算機関のスワップクリアリングのようなイニシアチブを通じて、決済インフラの高度化にも取り組んでいるので、今後の発展が期待できます。

#### MSOG

日本における  
今後の戦略は

**JM)** 国際金融市場での経験を活かし、日本市場に対応する知識と能力を併せ持つグローバル企業として、日本で提供するソリューションの幅を広げる努力を今後も継続していきます。顧客のニーズを深く理解し、適切なソリューションを提供していきたいと思えます。グローバル企業としての強味である世界共通プラットフォームの上にローカルモジュールを開発できる体制も整えています。最近の例では、SWIFTビューローの日本への導入、Affiliate Clearing（拠点間決済）のソリューション、日銀ネットで決済される国債・円資金取引を行うソリューションの提供を実現しました。海外のプレーヤーが日本でビジネス展開するための支援も継続していきます。今後も、変革が続く市場のニーズに焦点を当てて、提供できるサービスを拡大し、それぞれの分野で弊社が誇る世界最高水準のサービスを提供したいと考えています。

(聞き手 MSOG編集部 富田)

お問い合わせ先

**株式会社ブロードリッジ・ジャパン**

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-3-3 麹町K Sスクエア10階

電話：03-5212-6311

HP：www.broadridge.jp